



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月26日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル
コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582
四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	860	△5.2	83	△65.8	82	△66.1	50	△66.7
25年3月期第1四半期	908	39.6	245	816.1	244	857.2	151	1,449.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 49百万円 (△66.3%) 25年3月期第1四半期 148百万円 (1,749.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.41	—
25年3月期第1四半期	13.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,505	1,446	57.7	126.94
25年3月期	2,642	1,584	60.0	139.05

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 1,446百万円 25年3月期 1,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	16.50	16.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 2円50銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,640	△4.8	295	△43.7	292	△44.1	175	△45.8	15.39
通期	4,031	12.0	1,151	14.7	1,144	14.6	687	11.4	60.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 2社 （社名）LINICAL TAIWAN CO., LTD.、LINICAL KOREA CO., LTD.、除外 1社 （社名）
 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	12,370,000株	25年3月期	12,370,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	975,094株	25年3月期	975,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	11,394,906株	25年3月期1Q	11,394,933株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当連結会計年度の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済・金融政策などを背景に、企業業績や消費動向が改善するなど全体としての景況感は徐々に改善されつつあるものの、世界的な景気の減速懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましても、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験（注）の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。近年、既存企業の規模拡大、M&Aによる業界再編が進んだ結果、業界内の競争は激しくなっているものの、直近の受注状況は改善しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業につきましては、引き続き営業活動を強力に推進し、複数の新規案件を受託いたしました。前年同四半期は、一部案件のマイルストーンの前倒し達成、大型新規案件の受託及び新規案件の開始に係る準備金の売上高計上等により高い収益だったのに対して、当第1四半期連結累計期間はこうした要因が無く、収益は低下いたしました。また、利益面では上記の収益の低下に加え、当社グループのモニタリング業務の高い品質を維持しつつ新規受託案件に対応するために、先行的に人員を採用し教育を行った結果、前年同四半期を下回ることとなりました。CSO事業については、営業活動を強力に推進した結果、新規案件の受託に成功し、収益に貢献することとなりましたが、利益面では、CRO事業同様、先行的に人員を採用し教育を行った結果、前年同四半期を下回ることとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は860百万円（前年同期比5.2%減）、経常利益は82百万円（同66.1%減）、四半期純利益は50百万円（同66.7%減）となりました。

（注）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国又は地域において同時並行的に行うことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ137百万円（5.2%）減少し、2,505百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ0百万円（0.1%）増加し、1,058百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加及び未払法人税等の減少によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ138百万円（8.7%）減少し、1,446百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より109百万円減少し、1,623百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は134百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益82百万円の計上があったものの、法人税等の支払額231百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1百万円となりました。これは、主に差入保証金の差入による支出0百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は26百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加額210百万円があったものの、配当金の支払による支出174百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCRO、CSOとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成26年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、本年5月10日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。CSO事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成25年3月期末の受注残高に比べ平成25年7月26日時点の受注残高は3.4%減少しておりますが、これは、受託案件の新規契約があったものの、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は良好であり、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、CRAの増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成25年 3月期末 (A)	平成26年3月期		増減率(%) (B-A)/A
		第1四半期末	平成25年7月 26日時点 (B)	
受注残高	4,750	4,436	4,587	△3.4
内訳	塩野義製薬	2,044	2,127	4.1
	武田薬品工業 グループ	1,019	788	△23.1
	田辺三菱製薬	691	602	△12.9
	中外製薬	421	379	△10.1
	その他	573	540	21.3

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、台湾及び韓国に全額出資子会社であるLINICAL TAIWAN CO., LTD. 及び LINICAL KOREA CO., LTD. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,532,152	1,422,169
売掛金	500,364	473,026
有価証券	200,964	200,991
前払費用	35,587	51,024
繰延税金資産	50,359	17,989
立替金	36,612	47,050
その他	622	226
流動資産合計	2,356,663	2,212,478
固定資産		
有形固定資産	34,910	32,668
無形固定資産	830	6,377
投資その他の資産		
差入保証金	224,770	225,149
その他	25,299	28,465
投資その他の資産合計	250,069	253,615
固定資産合計	285,810	292,661
資産合計	2,642,473	2,505,140
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	210,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	96,633	107,041
未払費用	48,943	54,604
未払法人税等	238,948	5,294
未払消費税等	45,147	33,826
預り金	53,220	87,014
賞与引当金	74,541	42,810
リース債務	4,851	5,587
その他	1,136	14,125
流動負債合計	593,422	590,303
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	47,500	40,000
リース債務	8,674	12,535
退職給付引当金	58,409	65,867
固定負債合計	464,583	468,402
負債合計	1,058,006	1,058,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	1,581,533	1,443,790
自己株式	△289,174	△289,174
株主資本合計	1,579,402	1,441,659
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,065	4,775
その他の包括利益累計額合計	5,065	4,775
純資産合計	1,584,467	1,446,434
負債純資産合計	2,642,473	2,505,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	908,091	860,651
売上原価	512,509	594,523
売上総利益	395,582	266,128
販売費及び一般管理費	150,110	182,203
営業利益	245,472	83,924
営業外収益		
受取利息	33	228
為替差益	67	—
営業外収益合計	101	228
営業外費用		
支払利息	1,530	1,169
その他	—	175
営業外費用合計	1,530	1,344
経常利益	244,042	82,809
税金等調整前四半期純利益	244,042	82,809
法人税、住民税及び事業税	68,761	2,981
法人税等調整額	24,182	29,554
法人税等合計	92,943	32,536
少数株主損益調整前四半期純利益	151,099	50,272
四半期純利益	151,099	50,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,099	50,272
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,785	△290
その他の包括利益合計	△2,785	△290
四半期包括利益	148,313	49,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,313	49,982

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	244,042	82,809
減価償却費	5,487	2,834
長期前払費用償却額	689	926
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,781	△31,730
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,455	7,458
受取利息及び受取配当金	△33	△228
支払利息	1,530	1,169
為替差損益 (△は益)	△67	△84
売上債権の増減額 (△は増加)	93,288	27,337
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,395	△11,321
立替金の増減額 (△は増加)	11,986	△10,438
前払費用の増減額 (△は増加)	△19,923	△15,098
未払金の増減額 (△は減少)	3,136	9,884
預り金の増減額 (△は減少)	21,549	33,793
その他	△159	1,512
小計	328,808	98,822
利息及び配当金の受取額	33	229
利息の支払額	△2,399	△2,157
法人税等の支払額	△255,543	△231,800
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,898	△134,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,343	—
長期前払費用の取得による支出	△437	△825
差入保証金の差入による支出	△332	△906
差入保証金の回収による収入	315	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,798	△1,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	225,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
配当金の支払額	△115,875	△174,672
リース債務の返済による支出	△2,414	△1,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,210	26,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,705	△216
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	164,605	△109,955
現金及び現金同等物の期首残高	981,956	1,733,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,146,562	1,623,160

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。